第13講 【近代編】産業革命と大西洋革命
PART3 アメリカ独立革命

Chapter 1 アメリカ独立革命の背景

目標
アメリカの独立精神がどのように形成されたのかを考えよう。
イギリスの課税政策に対してアメリカがどう抵抗したかを学ぼう。

1 アメリカ13植民地と植民地議会

アメリカ 13 植民地

① 13 植民地の建設

A **ヴァージニア植民地**：テューダー朝時代に入植がはじまり，ステュアート朝の時期にジェームズタウンが完成

B **ニューイングランド植民地**：1620 年, ピューリタンの一団（**ピルグリム = ファーザーズ**）が〔　　　　　　　　　　　〕にてプリマスに上陸
→入植者により植民地の基礎がつくられる。**ボストン**など

C ペンシルヴェニア植民地：クェーカー教徒の**ウィリアム = ペン**が植民し，翌年，**フィラデルフィア**を建設

D ジョージア植民地：13 植民地のうち最後の植民地

②〔　　　　　　　　　　　　　〕

入植者は自立精神が強く，各地で自治を行った

2　イギリスの課税政策と抵抗のはじまり

①植民地を巡るフランスとの抗争

イギリスは**フレンチ＝インディアン戦争**でフランスに勝利

→ 1763 年，〔　　　　　　　　　　〕でカナダとミシシッピ川以東のルイジアナをフランスから獲得

→以降イギリスはアメリカ植民地へ重商主義政策を強化

②イギリスのアメリカ植民地への課税政策

A　〔　　　　　　　〕（1765 年）

出版物などに印紙を貼り付けることを義務化する法律を制定

→植民地側は〔　　　　　　　　　　　　〕と反発

印紙法に反発する人々

B　〔　　　　〕（1773 年）

東インド会社に茶の独占販売権を与える法律を制定

→ 1773 年，

〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕が勃発し，対立が激化

→イギリスは**ボストン港閉鎖**，マサチューセッツ植民地の自治権廃止など制裁を発動

③〔　　　　　　　　　　　　　　　〕（1774 年）

植民地側は**フィラデルフィア**で会議を開き，イギリスに抗議

まとめ　13 植民地では植民地議会が自治を行っていたため，自立精神が強かった。印紙法に対して「代表なくして課税なし」と反発し，茶法に対してはボストン茶会事件で抵抗した。

Chapter 2　アメリカ独立戦争の過程とその後の状況

目標
アメリカ独立戦争の発端について学ぼう。
アメリカ合衆国憲法の特徴を理解しよう。

1　アメリカ独立戦争の勃発と過程

①［　　　　　　　　　　　　　　　］の勃発

1775 年，アメリカ市民兵がコンコードへ派遣中のイギリス軍と

［　　　　　　　　　　　］で衝突

②第 2 回**大陸会議**

フィラデルフィアで開かれ，［　　　　　　　　　　］が軍総司令官に任命される

③［　　　　　　　　　　　　　　］

［　　　　　　　　　　　　　　］が著す

→独立派，中立派，国王派に分裂していた世論が独立に傾倒

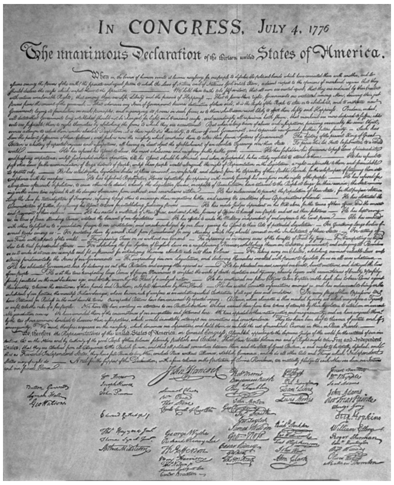
④［　　　　　　　　　　　　　　　］

1776 年，

［　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］

らが起草

→**人民主権**などを組み込む



アメリカ独立宣言の史料

2　アメリカ独立戦争の終結

①諸外国の支援

A　フランス，スペイン，オランダの支援

駐仏大使**フランクリン**がヨーロッパ外交で活躍し，支援を獲得

B　義勇兵の参戦

ラ＝ファイエット（フランス）や**コシューシコ**（ポーランド）などが義勇兵で参戦

C　武装中立同盟

ロシアの**エカチェリーナ 2 世**が主導し，［　　　　　　　　　　　］を結成→イギリスは外交的に孤立

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕の成立

大陸会議で**アメリカ連合規約**（1777 年）が採択され，成立

③〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

1781 年，独立軍がイギリス軍に勝利

→アメリカの勝勢が決定的となる

④独立承認

1783 年，〔　　　　　　　　　〕でアメリカの独立が承認される

→アメリカはミシシッピ川以東のルイジアナを獲得

3 アメリカ合衆国憲法の成立

①憲法制定議会の開催

1787 年，**憲法制定会議**が開催され，**連邦派**と**反連邦派**（州権主義）が対立

→〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕が成立

②アメリカ合衆国憲法の内容

A　**人民主権**，立法・司法・行政の**三権分立**，抵抗権の明記

※先住民や黒人の権利は認められなかった。

B　〔　　　　　　　　　〕の採用による連邦政府の権限を強化

※ただし各州にも大幅な権限を認めた。

③新政府の発足

〔　　　　　　　　　　　〕が初代大統領に

国務長官に**ジェファソン**（反連邦派），財務長官に**ハミルトン**（連邦派）が任命される

まとめ

アメリカ市民兵とイギリス本国軍がレキシントンで衝突し，アメリカ独立戦争がはじまった。
人民主権や三権分立が反映されて連邦主義をとったが，各州の大幅な自治権が認められた。

第13講 PART3 確認問題

1 アメリカ13植民地のうち，入植したピューリタンが中心となって建設された植民地はどこか。

① ジョージア植民地　② ニューイングランド植民地
③ ペンシルヴェニア植民地　④ ヴァージニア植民地

2 1774年にフィラデルフィアで開催された会議はどれか。

① 大陸会議　② ニケーア公会議
③ 植民地議会　④ 民会

3 「代表なくして課税なし」と反発を受け，撤廃された法律はどれか。

① 航海法　② 印紙法
③ 茶法　④ 首長法

4 アメリカ独立戦争のきっかけとなったアメリカの市民兵とイギリス軍の衝突がおこった場所はどこか。

① プリマス　② ボストン
③ フィラデルフィア　④ レキシントン

5 アメリカ独立宣言を起草した中心人物はだれか。

① トマス＝ジェファソン　② トマス＝ペイン
③ ウィリアム＝ペン　④ ローリー

6 アメリカ独立戦争において植民地側の勝利を決定づけた戦いはどれか。

① ヨークタウンの戦い　② プラッシーの戦い
③ レキシントンの戦い　④ ニコポリスの戦い

7 アメリカの独立が承認された条約を何というか。

① ウェストファリア条約　② トルデシリャス条約
③ ユトレヒト条約　④ パリ条約

8 アメリカ合衆国憲法の制定において，連邦政府の権限を強化する考え方はどれか。

① 重商主義　② 重農主義
③ 連邦主義　④ 州権主義

第 13 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：②　ピューリタンの一団ピルグリム＝ファーザーズの入植を契機として，**ニューイングランド植民地**が形成されていった。

2 解答：①　植民地は 1774 年に**第 1 回大陸会議**を開き，イギリスに抗議した。

3 解答：②　アメリカ 13 植民地に課税するために制定された**印紙法**は，反発を受けて撤廃に追いこまれた。③の茶法はイギリス東インド会社に茶の独占販売権を与える法律である。

4 解答：④　1775 年，アメリカ市民兵がコンコードへ派遣中のイギリス軍と**レキシントン**で衝突した。

5 解答：①　アメリカ独立宣言を起草した中心人物は**トマス＝ジェファソン**である。②のトマス＝ペインは『コモン＝センス』を著し，アメリカの世論を独立へと傾倒させた。

6 解答：①　レキシントンの戦いからはじまったアメリカ独立戦争は，**ヨークタウンの戦い**で植民地側の勝利が決定的となった。

7 解答：④　アメリカは**パリ条約**で独立を承認され，ミシシッピ川以東のルイジアナを獲得した。

8 解答：③　アメリカ合衆国憲法の制定においては，連邦政府の権限を強化する**連邦主義**を主張する連邦派と反連邦派（州権主義）が対立したが，連邦主義が採用された。